

# いたわり



No.41

発行 2015.1.15

一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

【発行人】鈴木一良 【編集・発行所】（一社）茨城県福祉サービス振興会

【編集委員】小室博俊、安藤真理子、柳下文江、桐原久雄

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館5階

TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799



## ごあいさつ

水郷桜イルミネーション会場から望む初日の出



一般社団法人茨城県福祉サービス振興会

会長 鈴木 一良

あけましておめでとございます。

昨年も民間福祉サービス分野を担う一般社団法人として実施しました各種研修会、講習会及び講演会に多大なご協力並びにご支援を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

さて、景気はまだら模様を呈しておりますが、今年こそ地方にも、中小企業にも実感のある景気回復をぜひ望みたいものです。茨城県においても、有効求人倍率が1を超える状況を迎え、介護・福祉業界の人材不足は深刻さを増しつつあります。安心・安



茨城県知事 橋本 昌

あけましておめでとございます。

茨城県福祉サービス振興会の皆様方には、日頃より本県の民間福祉サービスの振興を通じ、県行政の推進に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、まだまだ厳しさが残る一年でありましたが、本県においては、一昨年に続き、上期の工場立件件数が全国第一位となるなど、明るい兆しも見えてきております。

本年も、震災からの復興はもとより、地方創生に向けて全力を尽くしてまいります。

全で充実した超高齢社会を構築するためには、人材の確保が目下の急務であり、当振興会としても関係団体と連携を図り、対応策を検討できないかと考えております。

また、本年10月からの消費税10%増税が2017年4月に延期されました。地域包括ケアシステムの構築に向けた本格的な改革となる2015年度の介護報酬の改定では、一部では加算の創設や拡充で評価するものの、多くのサービスで基本報酬が引き下げられ、企業経営にきわめて大きな影響を及ぼすと思われる改定が現実味を帯びてきています。

当振興会としては、これらの課題に対応すべく研修会等を計画してまいりますので、皆様の一層のご協力をお願いし、新年のご挨拶いたします。

まず、広域交通ネットワークの整備や一層の企業誘致、最先端科学技術の拠点づくりや中小企業の振興などを進め、働く場の確保に努めてまいります。

また、結婚・子育て支援や地域医療の充実、高齢者の健康・生きがいづくり、障害者の自立支援などに取り組んでまいります。

さらに、少人数教育や理数教育・国際理解教育の推進など、我が国の将来を担う人づくりに取り組めますとともに、女性や若者が活躍しやすい環境づくりなどに特に力を入れてまいります。

皆様方には、今後とも県行政へのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、茨城県福祉サービス振興会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、新年のあいさついたします。

# 明日の介護を拓く 介護ロボット開発は

2010年から2025年までの15年間で、65歳以上の高齢者は約709万人増加し、高齢化率は30%と大幅に上昇すると見込まれています。介護職員の数も約250万人が必要とされ、介護現場では7割が腰痛を抱えているとのデータもあります。

このような背景から、「介護を助けてくれる介護ロボット」や「歩行などをアシストしてくれるアシストロボット」、「一人暮らしの相手をしてくれる癒し系ロボット」の開発がすすめられています。その中には既に実用化し、評価を受けているものもあります。

そこで、本格化した介護を拓くロボット開発がさらに進展し、明るい年になるよう祈念して、その動向の一端をまとめました。

開発のコンセプトは、現場ニーズ・志向に基づいて機能の選択と集中を行ない、高価なものではなく、「単純・安価だから使える（10万円程度）」、「2025年の需要に応える（高齢者単身世帯700万台分、介護職員240万台分）」というものです。

## 開発のコンセプトは

3件です。

その内容は、「急速な普及拡大（早期導入）に向けて、移乗介助、移動支援、排泄支援、見守り支援、入浴支援の5分野で、安価で利便性の高いロボット介護機器の開発支援をコンテスト方式で行なう。」というものです。

楽しみ！ 51の開発機器  
「ロボット介護機器開発・導入促進事業」として、平成25年度から51の機器が補助採択されています。

移乗介助8件、移動支援14件、排泄支援5件、見守り支援21件、入浴支援3件です。



移動介助（装着）



移動介助（装着）

## 国の開発戦略は

### 開発5カ年計画

国（経済産業省・厚生労働省）は、平成21年から新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）や産業技術総合研究所（産総研）などと協力して「生活支援ロボット実用化プロジェクト」を進めてきました。

平成25年6月には「ロボット介護機器開発5カ年計画」を日本再興戦略の中に位置づけ、本格的な取り組みを始



移乗介助

移動支援

認知症の方の見守り

排泄支援・入浴支援

## 茨城県での取り組み

つくば市には、「ロボットスーツ HAL」を開発した「サイバーダイン」、生活支援ロボット等に関する安全評価を行う産業技術総合研究所などがあり、先進的な役割を果たしています。



▲パロ（セラピー用）  
◀移動支援



県は、産総研が開発した癒し系ロボット「パロ」、(株)スマートサポート製の介護作業支援スーツ「スマートスーツ」などの実証展示会や講演会を開催してきました。

26年度は、ロボット介護機器の利活用が早期にできるよう、導入効果のモニタリング等の実証試験を進めています。

導入機器は「電動歩行アシスト」(RTワークス(株))を25施設で32台、三次元電子マット式見守りシステム(RTワークス(株))を5施設25台としています。

県は、本県には先駆的な役割を果している研究機関等があり、かつ介護現場でのロボット介護機器への関心が高いことから、今後も普及啓発に取り組んでいくとしています。

## 開発への積極参画を

実用化に向けて、多くの企業で動きが活発化しています。サイバーダインが開発したHALは欧州で実用化され、国内でも医療機器としての承認に向けた活動も強めているとも聞きます。

進行する高齢化、求められる高

齢者の自立、QOL向上、介護労働の負荷軽減などを支える新たなものとして、ロボット介護機器(介護ロボット)や生活支援ロボットが必要といわれ、新産業として期待されています。

開発には介護現場での評価が不可欠です。開発動向を注視し、積極的に実証試験などに参画するなどして、一日も早く介護ロボット(ロボット介護機器)が活躍して、活用され、介護される人も介護する人も生き生きと過ごせる現場を見たいものです。



ロボットスーツHAL 福祉用

(注) 詳細は、「介護ロボットポータル

サイト(経産省・産総研)、経産省ホームページ、テクノエイド協会ホームページをご覧ください。

写真はテクノエイド協会医療福祉機器技術事業化交流会資料から

## お知らせ・情報コーナー

### 映像で紹介!

### 福祉用具の操作・特徴

茨城県総合福祉会館2階の福祉用具展示ホールと1階展示コーナーで、福祉用具の使い方や特徴などをDVDで放映します。ぜひ、ご覧ください。

### 新春講演会

講演者 柴田 博 氏

人間総合科学大学  
保健医療学部学大学院  
教授・学部長

演題 老化概念の変遷  
とき 1月23日(金)  
午後3時から  
ところ 水戸京成ホテル  
4階若竹の間

### 賀詞交歓会

とき 1月23日(金)  
午後3時から  
ところ 水戸京成ホテル  
2階瑠璃の間

株式会社筑波銀行



取締役頭取 藤川 雅海  
 設立：昭和27年9月  
 従業員数：1,724名（平成26年9月末現在）  
 ホームページ <http://www.tsukubabank.co.jp/>  
 本店：〒300-0043 茨城県土浦市  
 中央二丁目11番7号  
 本部：〒305-0032 茨城県つくば市  
 竹園一丁目7番  
 電話：029-859-8111

行を目指します。(4)明るく働き甲斐のある職場をつくり、創造性豊かな行員を育てます。」を経営理念として

福祉分野への取組

高齢化社会が進む中、筑波銀行では自治体等と連携しながら、地域貢献活動に積極的に取り組み高齢者向け

- 店舗数  
147店（茨城県内132、県外15）
- 店舗箇所数  
112（県内98、県外14）

経営理念「地域になくはならない銀行をめざして」

筑波銀行は「地域になくはならない銀行」を目指し、茨城県を地盤とする株式会社関東つくば銀行と株式会社茨城銀行が平成22年3月1日に合併し誕生した。

「地域の皆様の信頼をもとに、存在感のある銀行を目指し、豊かな社会づくりに貢献します」を基本理念に、「(1)お客さまに満足していただける、質の高いサービスに努めます。(2)健全経営に徹し、業容業績の向上発展に努めます。(3)地域のために役立ち、信頼される銀

株式会社 マネジメントセンター



代表取締役 松本 幸雄  
 〒310-0836 水戸市元吉田町1041-4  
 サン・ビルディング4F  
 TEL：029-246-4671 FAX：029-246-4671  
 ホームページ：<http://www.isommc.com/>  
 デイサービス野ばら 千波館  
 水戸市千波町  
 TEL：029-306-7742 FAX：029-306-7743  
 デイサービス野ばら てまり館  
 水戸市本町  
 TEL：029-353-7933 FAX：029-353-7936

者の満足度アップと職員のレベルアップを通して、施設の業績向上と職員の定着率向上の支援をしている。特に地元のコンサルティング事業所として、地元介護施設への職員研修や支援を行っているといきたいとしている。

365日24時間対応宿泊型デイサービスとフランチャイズ「介護グループ野ばら」

経営ノウハウを元に、介護施設「デイサービス野ばら」を経営、経済的負担の少ない365日24時間対応、宿泊もできるのが特徴だ。

またフランチャイズ本部として「介護グループ野ばら」を運営し各加盟事業者の経営支援を行っている。

家族的な温かい愛情とプロの介護の両方が受けられる小規模なデイサービスが特徴である。どうぞ、問合せみて下さい。

■ 業務内容

■ 介護関連事業

コンサルティング会社の研修・経営ノウハウを活用して利用者の満足度アップ、職員のレベルアップをサポート

- ・ 公的機関における研修・セミナー
- ・ 介護職員研修

■ 経営コンサルティング事業

- ・ ISO・プライバシーマークの認証取得支援
- ・ 経営戦略・事業計画
- ・ 社員教育

当社は1997年より中小・零細企業のコンサルティング・研修会社として、多くの施設・企業の職員研修と経営改善の支援を行ってきた。その経営ノウハウを活用して介護施設への職員研修を実施し利用

編集後記

昨年は大きな自然災害に立ち向かわなければならぬ1年でしたが、新年度は羊年に象徴されるように平和で穏やかな一年になるとを期待します。  
 (柳下文江)